

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【公開番号】特開2016-188209(P2016-188209A)

【公開日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-062

【出願番号】特願2016-88333(P2016-88333)

【国際特許分類】

C 07 K	16/30	(2006.01)
C 07 K	16/46	(2006.01)
A 61 K	39/395	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
C 12 P	21/08	(2006.01)
C 12 N	15/02	(2006.01)

【F I】

C 07 K	16/30	Z N A
C 07 K	16/46	
A 61 K	39/395	E
A 61 K	39/395	T
A 61 P	43/00	1 1 1
A 61 P	35/00	
C 12 P	21/08	
C 12 N	15/00	C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年2月6日(2017.2.6)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0200

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0200】

本発明の特異的結合メンバーは、抗体定常領域またはこれらの一部をさらに含むことがある。例えば、VL鎖配列に基づく特異的結合メンバーを、ヒトCkまたはC鎖、好ましくはC鎖を含む抗体軽鎖定常ドメインにこれらのC末端で取り付けることができる。同様に、VH鎖配列に基づく特異的結合メンバーを、任意の抗体アイソタイプ、例えばIgG、IgA、IgE、IgDおよびIgMならびに該アイソタイプのサブクラスのいずれか(特にIgG1、IgG2bおよびIgG4が好ましい。)に由来する免疫グロブリン重鎖のすべてまたは一部にこれらのC末端で取り付けることができる。IgG1が好ましい。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0654

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0654】

【表23】

表20 mAb806 および hu806 CDR配列比較(Kabat)¹

A. 可変軽鎖

	CDR1	CDR2	CDR3
mAb 806	HSSQDINSNIG (配列番号NO : 18)	HGTNLDD (配列番号NO : 19)	VQYAQFPWT (配列番号NO : 20)
hu 806	HSSQDINSNIG (配列番号NO : 49)	HGTNLDD (配列番号NO : 50)	VQYAQFPWT (配列番号NO : 51)

B. 可変重鎖

	CDR1	CDR2	CDR3
mAb 806	SDFAWN (配列番号NO : 15)	YISYSGNTRYNPSLKS (配列番号NO : 16)	VTAGRGFPY (配列番号NO : 17)
hu 806	SDFAWN (配列番号NO : 44)	YISYSGNTRY <u>Q</u> PSLKS (配列番号NO : 45)	VTAGRGFPY (配列番号NO : 46)

¹mAb806 CDR配列との相違に下線を引く